

日本鉱物科学会平成27年度 第2回定例評議員会議事録

日時：平成28年5月22日（日）18:00-20：30

会場：幕張メッセ国際会議場 2階 202

評議員会出席者

会長：小山内康人，副会長：土山明

評議員：安東淳一，池田剛，大和田正明，河上哲生，川本竜彦，平賀岳彦，宮脇律郎，吉朝朗，阿部なつ江，井上徹，上原誠一郎，黒澤正紀，下林典正，高澤栄一，土谷信高，長瀬敏郎，中村美千彦，鍵裕之，佐藤努，角替敏昭，濱本拓志，平島崇男，森下知晃

委任状：土屋範芳，柳澤教雄，小暮敏博，大藤弘明，貴治康夫，永島真理子，宮島宏

幹事会メンバー出席者：

会長：小山内康人，副会長：土山明，庶務幹事：永井隆哉，会員幹事：佐藤努，会計幹事：中村美千彦，行事幹事：黒澤正紀，和文誌編集幹事：木村眞，英文誌編集幹事：平島崇男，渉外幹事：井上徹，広報幹事：伴雅雄，特務幹事（会則・内規検討担当）：川本竜彦，特務幹事（対外雑誌担当）：大谷栄治，特務幹事（法人化対策担当）：大和田正明，会計監査委員：後藤章夫，三鉱連絡委員：永井隆哉，黒澤正紀，選挙管理委員：中野伸彦，地惑連合連絡担当：大谷栄治，黒澤正紀

欠席者：Elements：宇都宮聡，特務幹事（会員増対策担当）：片山郁夫，会計監査委員：加々島慎一，選挙管理委員：栗林貴弘，地球惑星科学連合2016年度学会選出プログラム委員：三宅亮（正）・齊藤哲（副），地惑連合連絡担当：橘省吾（連合登録連絡委員）

各種委員会委員長出席者：

行事委員会委員長：黒澤正紀幹事，GKK編集委員会委員長：木村眞幹事，JMPS編集委員会委員長：平島崇男幹事，渉外委員会委員長：井上徹幹事，広報委員会委員長：伴雅雄幹事，将来企画委員会委員長：土山明委員長，会則内規検討委員会：川本竜彦委員長，新鉱物・命名・分類委員会委員長：宮脇律郎委員長，法人化準備WG委員会：大和田正明委員長，会長・副会長候補者推薦委員会：宮脇律郎委員長，2016年Goldschmidt 担当：鍵裕之委員，

欠席者：Elements委員会委員長：宇都宮聡幹事，教育普及委員会委員長：奥山康子委員長，博物館委員会委員長：坂野靖行委員長，2016年年会LOC委員長：奥野正幸委員長，2017年年会LOC委員長：入船徹男委員長

各賞選考委員会委員長出席者：

日本鉱物科学会賞選考委員会：吉朝委員長，渡邊萬次郎賞選考委員会：土谷信高委員長，日本鉱物科学

会論文賞選考委員会：下林委員長，日本研究奨励賞選考委員会：長瀬委員長，日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会：黒澤委員長，研究発表優秀賞選考委員会：横山正委員長

欠席者：櫻井賞選考委員会：松原 聡委員長

会議に先立ち，会長より書記として下林典正評議員が推薦され，満場一致で承認された。

I. 報告事項

1. 会員報告と入会承認（佐藤会員幹事）

平成27年度第1回評議員会以降の会員動静について報告があった。

物故会員3名（永年会員3名），退会10名（永年会員1名，シニア会員2名，一般正会員3名，学生正会員4名），購読会員3件，賛助会員1件，入会11名（一般正会員6名，学生正会員5名）である。平成28年5月22日現在，一般正会員649名，シニア会員161名，学生正会員89名，永年会員32名，名誉会員13名で会員数計944名となった。賛助会員（10件），7購読会員など含む団体登録は163件で総数は1,107件である。

2. 広報報告（伴広報幹事）

広報活動について以下の報告があった。

- 1) 広報委員会委員の主な役割の分担は昨年と同様：橘委員：将来計画委員会との連絡，門馬委員：ホームページ，亀井委員と奥村委員：学会でのブースである。
- 2) 会員へのML送信を実施した（2016年は現在までに14件）。内容は，学会事務連絡，公募案内，関連学会案内など。
- 3) 連合大会の日本鉱物科学会ブース展示対応を行った：1. 学会誌GKK, JMPSの紹介と配布，2. 学会会員執筆書籍の展示紹介，3. 会員に配布されている“Elements”の紹介と配布，4. 「一家に1枚：鉱物-地球と宇宙の宝物」ポスターの紹介と配布。5. スタンプラリー実施に参加。
- 4) 地学オリンピックでの「一家に1枚：鉱物-地球と宇宙の宝物」ポスター配布。ポスターを追加印刷した。
- 5) 戦前の岩石鉱物鉱床学（伊藤貞市「双空間群論」）の現代語訳（マッシモ会員による）をHPに掲載した。

3. 渉外報告（井上渉外幹事）

渉外活動について以下のような報告があった。

2012日本地球惑星科学連合大会（2012JpGU）から始めた鉱物科学会ブースにおける「本学会会員執筆書籍の展示」は，日本鉱物科学会2015年年会及び今回の2016JpGUへと引き続き行われている。前回の2015年年会までに献本された本は28冊であり，その後2016JpGUでは新たに1冊献本され合計29冊となった。

4. 和文誌（GKK）編集報告（木村和文誌編集幹事）

GKKの編集状況について以下の報告があった。

報告事項：

- 1) 平成28年5月18日現在、岩石鉱物科学44巻5号(9月号)～45巻2号(3月号)計4号が発行され、掲載件数頁数は以下の通り。原著論文3件48p, 短報1件6p, 総説5件53p, 資料・解説7件51p, 訂正1件1p, 新刊紹介5件2.5p, ニュース(他学会案内, 教官公募等) 2p, 投稿規定3p, 学会記事(評議員会・総会議事録)20p, 年会案内9p, その他の記事0.5p, 総目次3p, 広告10件5p, 白頁4p, 4号分合計208p, 1号平均頁52p。
- 2) 印刷状況：45巻4号(5月号) 掲載予定論文未定, 査読状況：現在査読中論文：3編, 受理論文0編。
- 3) 特集号「岩石－水相互作用の研究の発展と鹿園直建先生」発行状況報告：その1：44巻5号掲載(4編), その2：45巻2号(1編) 掲載, 査読中2編。

メール審議報告:

- 1) 以下の4件について「岩石鉱物科学」投稿規定の改訂をした。
 - (1) 原稿中の隕石名は隕石学会で認められたもののみとする。
 - (2) 直方晶系への対応。
 - (3) 掲載不可論文の対応。
 - (4) 投稿手続。
- 2) 会員の受賞(受章)紹介記事掲載について審議し「その他の記事」として掲載が承認された。

5. 英文誌 (JMPS) 編集報告 (平島英文誌編集幹事)

JMPSの編集状況について以下の報告があった。

平成28年5月22日(日)12:30-13:30にJMPS編集委員会を開催し下記について報告された。

報告事項:

- 1) JMPS状況報告: 110巻5号(10月)～111巻2号(4月)計4号が発行された。掲載件数頁数は以下の通り。Reviews 1件3p, Articles 17件239p, Letters 2件12p, Editorial 1p, 投稿規程3p, Index4p, Contents4p, 白頁2p, 4号分合計頁268p, 1号平均頁67p。今後の発行状況:111巻2号(4月号)特集号その1「METAMORPHISM AND CONTINENTAL GROWTH Part 1」6論文発行, 111巻3号(6月号)特集号6論文予定(2編早期公開, 1編校正中, 印刷準備3編), 111巻4号(8月号) 原著論文5編(5編早期公開中), 111巻5号(10月号)4編受理(1編印刷中, 3編準備中)。
- 2) 2015年9月19日以降2016年5月18日まで投稿31編についての投稿内容は通常投稿27編(Letter4編で, 編集状況は受理受理14編(内海外7編), Reject5編(内海外5編), 査読中7編(内海外1編), 返却中5編(内海外1編)(合計31編)である。
- 3) 2014 JMPS Impact Factorは 0.742である。(=Cites to recent items 49編/Number of recent items 66編)
- 4) 電子ジャーナルアクセス状況について: 2015年9月2060件, 2015年12月2916件, 2016年4月3808件で, 主な国名はアメリカ合衆国, 日本, 中国, オランダ, ドイツ, インド, カナダ, フランス, イギリスロシアなど。
- 5) 2016連合大会講演を対象にLetterを募集中: 投稿申込

締切日: 2016年6月10日(金) 締切日厳守, 原稿提出締切日: 2016年7月19日(火) 締切日厳守。Letter企画の対応再確認: 時宜にかなった話題の迅速な掲載や, 興味深いデータをコンパクトに提供するという, Lettersの目的にそった原稿の投稿。Letters 原稿の長さなど: 原則刷り4頁以内, 最大6頁以内, 極力WEBサイトへのdepositは避けること。depositが多い場合はOriginal Articleへ変更する場合もある。JpGU講演発表はもとより, 年会発表講演Letter投稿も激減している。

6) 特集号報告: 外国人依頼原稿著者の頁チャージを承認した。

7) その他:

(1) INSTRUCTIONS FOR CONTRIBUTORSの改正:

Meteorite namesの件

(2) 最近の国内外論文投稿マナー報告→引用文献チェックソフト導入の検討

審議事項:

1) JMPS学生論文賞選考委員会設置と選考作業開始の件:

(1) 選考対象論文は2014年2015年掲載論文で学生正会員筆頭著書すべてを対象とする。

(2) 選考方法は5名を選出して第3回評議員会へ報告する。

6. 庶務報告 (永井庶務幹事)

平成27年度第1回評議員会以降の対応について以下のように報告された。メール発信は 評議員会関連24件, 連合への対応4件, 会員への連絡6件を行った。後援, 共催, 協賛計12件となった。法人化設立のため会長, 副会長候補者, 評議員候補者(設立理事候補)選挙実施方法についてWGと検討して電子メール臨時評議員会を開催して協議した。また, 今年は日本学術振興会有志賞へ1名の推薦があり推薦準備中。熊本地震で被災された熊本地方の会員へ地震見舞いメールを送った。2016年5月21日に, 2018年以降の科研費細目のキーワードから「岩石・鉱物」が消える件で, 評議員に文科省へパブリックコメントを依頼した。

7. 行事・年会報告

(黒澤行事幹事, 奥野2016年LOC委員長代理森下委員)

1) 日本地球惑星科学連合2016年大会: 日程:2016年5月22日(日)～5月26日(木)会場: 幕張メッセ国際会議場

2) 日本鉱物科学会 2016年年会・総会: 日程: 2016年9月23日(金)～25日(日) 会場: 金沢大学角間キャンパス自然科学研究科講義棟等, 内容: シンポジウム「ちきゅう掘削鉱物科学」, 「スペシャルセッション」2種, 「レギュラーセッション」8種, 講演申込み期間: 6月20日(月)9時～7月11日(月)17時(WEBサイト利用)

以下については, 奥野2016年LOC委員長代理森下委員から説明があった。

3) 2016LOCから報告:

(1) 鉱物科学会年会 金沢大会シンポジウム企画：タイトル：ちきゅう掘削鉱物科学，世話人：海野 進・水上知行・曾田祐介・田村明弘・森下知晃，日時：8月24(土)14時から。

(2) 準備状況報告：

①LOC運営委員会組織と役割分担の詳細について決定 ②学会スケジュールについては，日本鉱物科学会HPにおいて公開中 ③会場準備の状況 ④シンポジウム企画 ⑤石川県・金沢市学会助成金確定通知書受理。助成額は，学会参加者数によって確定 ⑥後援について ⑦その他，役割分担に沿って準備中

8. Elements報告（宇都宮Elements幹事，代理庶務幹事） Elements掲載原稿について以下の報告があった。

以下の記事をJAMS Society Newsとして編集し，Elementsに投稿した。JAMSは1年間に6号で8ページ使用可（会員～1000名の学会）であり，毎号1ページを目安に記事を作成している。

1) 2016 No. 1 2月号(原稿締切 2015/12/1 提出済み)

From the president (Prof. Yasuhiro Osanai, JAMS President), Invitation to the annual meeting of the Japan geoscience union, Welcome to Yokohama

2) 2016 No. 2 4月号 (原稿締切 2016/2/3提出済み)

Monitoring the growth of mineral deposits above artificial hydrothermal vents on the seafloor (Dr. Tatsuo Nozaki, JAMSTEC; Dr. Jun-ichiro Ishibashi, Kyushu University), Journal of Mineralogical and Petrological Sciences Vol. 111, No. 1, February 2016, Five years after the nuclear disaster in Fukushima

3) 2016 No. 3 6月号 (原稿締切 2016/4/6提出済み)

The rheological significance of serpentinite on subduction zone dynamics (Ikuo Katayama, Hiroshima University), Journal of Mineralogical and Petrological Sciences Vol. 111, No. 2, April 2016

9. 会計報告（中村会計幹事）

日本鉱物科学会平成27年度一般会計中間報告など以下の2点の報告が行われた。

1) 平成27年度一般会計中間報告

(平成27年9月1日～平成28年5月18日)

2) 2015年年会計決算報告

(決算書は岩石鉱物科学45巻1号46頁に掲載)

10. 会計監査報告（後藤会計監査委員）

2015年年会計決算の内部監査報告が示され，適切に処理されている旨報告があった。

11. 将来企画委員会報告（土山委員長）

平成28年5月21日(土)14:00-17:00に東京大学理学系研究科で第16回将来企画委員会が法人化準備WGと合同で開催され，以下のような内容が報告された。

1) 法人化について：主に定款を検討した。（詳細は12. 特務幹事(法人化対策担当)報告を参照）

2) IMAの国内委員会の活動を改善するために後，検討していくことになった。

3) 法人化記念事業の検討 (1)日本の石，国の石選定の提案 (2)会員からの募集などの提案

12. 特務幹事(法人化対策担当)報告（大和田特務幹事）
平成28年5月21日(土)14:00-17:00に東京大学理学系研究科で第16回将来企画委員会と合同で開催され，定款案について検討し，疑問点などまとめた。なお，以下のような準備経緯が報告された。

1) 定款（案）作成の基本方針

定款(案)は，昨年(平成27年)の法人化決定後，堀井事務所と法人化業務委託契約を取りかわし，11月6日(金)，12月22日(火)，1月29日(金)の3回各2時間，ヒアリング，ミーティングを行い，(1)「一般社団法人に関する法律」に則り，(2)現在の日本鉱物科学会会則を継承し，(3)現在の学会組織，システムを法令の範囲内で継承していくことを前提に，専門家からのアドバイスを受けて作成したもの。

2) 定款（案）の内容

一般社団法人は，「一般社団法人に関する法律」に従わなければなりませんので，基本的なことはこの法令を参照することにして，当学会の現行会則の規定に準じる内容を明文化しました。なお，定款の変更は総会の「特別決議」にあたり，定款の変更は「総社員（正会員，名誉会員）の議決権総数の2/3以上に当たる多数を以て行う」と規定されているので，会員種や会費などは別規定に纏めた。

3) その他の規約

現在の内規，規約に基づき作成されている。

4) 専門家との各打ち合わせ報告

下記3回の各打ち合わせとも，時間：2時間，会場：東京大学理学部1号館5階532号室，専門家2名の出席のもと開催した。

1回目平成27年11月6日(金)：

出席者：小山内会長，村上委員，大和田委員長，中村会計幹事，永井庶務幹事，事務 6名

内容：定款(案)作成にあたりヒアリング，今後のスケジュール確認

2回目平成27年12月22日(火)：

出席者：小山内会長，土山副会長，村上委員，大和田委員長，中村会計幹事，事務 6名

内容：定款案の確認，会員会費規定案の検討

3回目平成28年1月29日(金)：

出席者：小山内会長，土山副会長，村上委員，大和田委員長，事務 5名

内容：最終定款案，会員会費規定案の確認，運営細則，選挙内規改定の件

その他，メールでのやり取りで検討してきた。

13. 会長・副会長候補者選考委員会報告（宮脇委員長）
次期会長候補者として土山明会員，副会長候補者とし

て榎並正樹会員と大和田正明会員が、会員からそれぞれ推薦され、本人から承諾を得たので候補者として選出したことが報告された。

1 4. 選挙管理委員会報告（中野選挙管理委員）

次期評議員候補者の推薦について、選出されれば設立理事となることから、法人化準備WGで推薦を行うことになり5月末まで締め切りを延期する提案がなされ、承認された。

1 5. 地球惑星科学連合報告（大谷代議員連絡担当）

代議員選挙が行われた。セクションの代表の選挙が行われた。引き続き理事の選挙が行われ、20名の理事と3名の監事が選出された。社員総会で決定。2016年JPGUフェローが承認された。2016年はAGUとのジョイントセッション(60セッション)、来年2017年はジョイント大会となる。各ジョイントセッションに対して15万円の支援。AGUとのジョイントの機会に連合大会の英語化を進める。

1 6. 特務幹事(対外雑誌PEPS担当)報告(大谷特務幹事)

PEPSの出版論文31編のIFは推定値3.2~3.5であった。学振の3年目の中間評価の結果はA評価であった。Most Accessed Paper WardsおよびMost Cited賞を創設した。2016はBjorn Mysen博士(CIW)他2件。2014~2016:投稿論文165:出版論文82:査読中24:reject 49。

1 7. 学術会議の報告(大谷学術会議連携委員)

大型研究の審査が行われている。連合大会のユニオンセッションで大型研究の発表ヒヤリングが行われる。課題の融合・連携が進みつつある。IMA分科会の自己点検が行われる。IMA分科会の学術会議および国民へのメリットを求められる。環境鉱物学、博物館ネットワーク、分類命名などによる貢献をまとめた。IMA分科会とIMA国内委員会の活性化の方策を検討中。IMA分科会は、JPGUの期間中の5月26日昼に開催予定。

1 8. 三鉱連絡会報告(永井連絡会委員)

平成28年5月22日昼に連絡会を開催し法人化について説明した。両学会で活動する前向きな提案など話題となった。

1 9. その他

1) 教育普及委員会報告(奥山委員長代理庶務幹事)

(独)大学評価・学位授与機構より「学協会における、大学・大学院教育の質保障の取り組みに関する調査」への協力依頼を受け、当委員会が学会窓口として調査に2015年12月に返答した。学校教科書の地学領域にて使用される用語の検討を行うべく日本学術会議とJpGUが設置する小委員会の委員として、川手新一委員を推薦した。

2) 博物館委員会報告(坂野委員長代理:庶務幹事)

2016年に中国で開催予定のM&M8がキャンセルとなり、2016年ないし2017年に糸魚川での代替開催打診があっ

たが博物館委員会と糸魚川市は、2016年開催は不可能、2017年開催は困難と判断し代替開催不可を通知した。現在、IMA-CMは代替開催地を探している。北川隆司鉱物コレクション巡回展の継続が予定されている(石川県立自然史資料館7月~2017年1月、和歌山県立自然博物館2017年1月中旬~2月)。JAMSは共催予定。

3) 新鉱物・命名・分類委員会報告(宮脇委員長)

2015年の申請は、新種128種、再定義(名称変更を含む)10種、抹消4種、分類命名規約2件。承認事項はIMAの公式リストに反映された。

4) 2016年Goldschmidt日本開催の件(鍵連絡委員)

3000件以上の申し込みがあり順調に開催準備が進んでいることが報告された。

5) 鉱物科学の教科書執筆の件(井上幹事)

講談社サイエンティフィック「鉱物科学」の編集状況について現在、編集委員の第1段階の査読を終え、それを基に著者による修正が行われていること、いくつかの章については既に修正版が提出されてきていることが報告された。

6) その他

「鉱物と宝石の辞典」刊行について、6月3日に最終編集委員会が開催されること土山会員から報告があった。

II. 承認事項

1. 会員承認 [入会, 除名: 佐藤幹事]

以下の一般正会員6名、学生正会員5名の入会申込書が回覧され、入会が承認された。

一般正会員 6名

	勤務先	紹介者
田阪美樹	新潟大学理学部地質科学科	M. SATISH-KUMAR
曾田祐介	金沢大学理工研究域	森下知晃
木村正雄	高エネルギー加速器研究機構	杉山和正
潮田雅司	産業技術総合研究所	浜田盛久
岡田敏朗	福岡市立和白丘中学校	上原誠一郎
佐藤篤志	三菱マテリアルトレーディング(株)福岡支店	佐藤 努

学生正会員 5名

会員氏名	在学先名	学年(申込時)	指導教員
坂下 雅	新潟大学大学院自然科学研究科		M1 高澤栄一
吉田有希	新潟大学大学院自然科学研究科		M1 高澤栄一
藤瀬武尊	岡山大学大学院自然科学研究科		M1 中村大輔
山崎 聡	岡山大学大学院自然科学研究科		M2 中村大輔
戸邊 宙	東北大学大学院理学研究科		M1 鈴木昭夫

除名対象者については再確認して最終的には第3回評議員会で決定することとなった。

なお、継続審議中の「留学生帰国後の学会会費」については、法人化後に再度検討することと報告があった。

2. 日本鉱物科学会賞選考委員会受賞候補者報告と承認
(吉朝委員長)

日本鉱物科学会賞選考委員会吉朝委員長から報告された桂 智男会員と西山忠男会員を平成27年度日本鉱物科学会賞第14回, 第15回の受賞者として承認した。

3. 渡邊萬次郎賞選考委員会受賞候補者報告と承認
(土谷委員長)

渡邊萬次郎賞選考委員会土谷委員長から報告された秋月瑞彦会員を平成27年度渡邊萬次郎賞第32回の受賞者として承認した。

4. 日本鉱物科学会論文賞選考委員会受賞候補者報告
と承認(下林委員長)

日本鉱物科学会論文賞選考委員会下林委員長から報告された以下の1編を受賞論文として承認した。

平成 27 年度日本鉱物科学会第 17 回論文賞受賞候補論文
Title: Dendritic magnetite crystals in rapid quenched fine spherules produced by falling experiments through the high temperature furnace with controlled gas flow. JMPS, 108-4, 227-237 (2013)
Authors: Hiroshi ISOBE, Takaaki GONDO
授賞対象著者：磯部博志

5. 日本鉱物科学会研究奨励賞受賞候補者報告と承認
(長瀬委員長)

日本鉱物科学会研究奨励賞選考委員長長瀬委員長から報告された坂巻竜也会員, 門馬綱一会員を平成27年度日本鉱物科学会研究奨励賞第19回, 第20回の受賞者として承認した。

6. 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会受賞候補者
報告と承認(黒澤委員長)

日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会黒澤委員長から報告された石川邦夫氏を平成27年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞第9回受賞者として承認した。

7. 櫻井賞選考委員会受賞候補者報告と承認
(松原委員長：代理宮脇委員)

櫻井賞選考委員会松原委員長, 代理宮脇委員から報告された門馬綱一会員を平成27年度櫻井賞第43回受賞者として承認した。

8. 会長・副会長候補者推薦の承認(宮脇委員長)
次期会長候補者として土山 明会員, 副会長候補者として榎並正樹会員と大和田正明会員が承認された。

9. 一般社団法人監事候補者推薦の件
(大和田法人化準備WG委員長)
法人化準備WG委員会で次期監事を推薦することが提案され承認された。

III. 審議事項

1. 一般社団法人定款など規約について
(大和田法人化準備WG委員長)
平成28年5月21日(土)14:00-17:00に将来企画委員会と合同で開催した会議における定款案の検討協議結果が紹介され, 変更点, 要望や疑問点などが承認された。今後は専門家に確認後, メールで評議委員会に報告し, 了承後は会員へ紹介するスケジュールが報告された。なお, 定款以外の運営細則などは法人設立後に改めて検討することとなった。
2. 年会開催地の件(黒澤行事幹事)
1) 2017年年会開催地(愛媛大学)については, 2017年年会入船LOC委員長代理井上LOC委員から詳細な開催準備状況の説明があり, 2017年9月12日(火)-14日(木)とすることが承認された。
2) 2018年年会開催地の件については, 伴委員から日程は未定だが山形大学で開催することが可能と説明があり, 承認された。
3) 2019年年会開催地については検討中である。
3. 研究発表優秀賞表彰式の方法について(黒澤行事幹事)
選考委員会の意見を取り入れながら, 今後将来企画委員会で検討することとなった。
4. その他
IMAの国内委員会の活動を改善するために
(土山将来企画検討委員会委員長)
今後も引き続き将来企画委員会で継続審議をすることとなった。